

編集委員

委員長 町 泉寿郎

五月女 肇志

田中 正樹

牧角 悦子

編集後記

今年度、本学では創立一四〇周年記念論文集が刊行され、また文学部の人文学会の機関紙「人文論叢」が一〇〇輯号を刊行する。明治以来一五〇年の時間の中で、前者は近代教育黎明期以来の本学の長い歩みを実感させ、後者は新制大学以降の学的蓄積を物語るものと言えよう。

今回で13号を数える本誌は、過去を顧み未来を見据え、本学のアイデンティティーを闡明にすべく、「日本漢文」の教育研究を課題に掲げた21世紀COEプログラムによって発刊された。東アジア世界の重要性が更に増す今日、「日本漢文」教育研究が担うべき意義は一層高まっているように思う。更に研究体制・編集体制等の組織の充実をはかり負託に応えていきたいと考えている。

今号は、徐興慶教授からの寄稿論文に続き、学内外の研究者の論文・研究ノート、及び資料として書目と昌平黌関係資料を収載することができた。執筆者・査読者各位にあらためて謝意を表したい。また、査読と改稿の時間的余裕を確保するために、次年度から原稿の締切りを早める可能性があるの  
で、関係各位の注意を喚起したい。

(町 泉寿郎)